

5.土砂災害から身を守る

避難のタイミングと行動

- ① いつもより強い雨が降り続けている(1時間雨量50mm以上)
- ② 土砂災害の前兆現象を見つけた
- ③ 奥多摩町の避難勧告・避難指示(緊急)

行動

- 指定の避難所、もしくは、身近で安全な場所へ避難する。
- 夜間や大雨が降っている中での避難は困難な場合がありますので、余裕を持ち、**早めに自主避難**をしてください。



避難する時間がないとき

- がけ崩れや沢の氾濫が発生しているときに外へ出ると危険な場合がありますので、**近所の頑丈な建物の2階**など**安全な場所**へ避難するなど身の安全を守る行動をとってください。

※徒歩での避難が困難な場合(避難所まで遠いなど)は、自家用車での避難を行ってください。
※避難所または避難所付近の安全な場所に駐車場があるか、日頃から確認しておきましょう。

避難する時のポイント

土石流から逃げる



土石流は大変スピードが速いため、逃げる時は土砂が流れる方向と直角に逃げる

雨がやんでも注意



雨のピークから遅れてがけ崩れが発生する場合もあり、数時間は注意する

避難時もがけ地に注意



がけ地はどこでも崩れるおそれがあるため、がけ地付近の通行に注意する

避難行動要支援者・観光客の支援

- **隣近所**で声を掛け合い、**高齢者**などの**安全に配慮**してください。

高齢者や傷病者



- ・複数人で対応する緊急時は背負ったり、担架を使う

耳が不自由な人



- ・口を大きく動かしてはっきり、ゆっくりと話す
- ・筆談や身振りなどで伝える

目が不自由な人



- ・つえを持つ手と反対側に立って、腕と肩をつかんでもらい、障害物を説明しながらゆっくり誘導する

車いすの人



- ・階段では2人以上で支援し、上りは前向き、下りは後ろ向きで運ぶ
- ・支援者が1人の場合は背負う

観光客・外国人



- ・観光客も指定避難所へ避難するため、適切に誘導する
- ・外国人は、身振り、手振りで意思・疎通を図る

※要配慮者へは奥多摩町からも避難支援を行います。



防災

この防災ガイドブックは、様々な方にわかりやすく伝えるため、色や文字などに配慮して作成しています。



奥多摩町・土砂災害



防災ガイドブック



本冊子では、奥多摩町で起こりうる土砂災害や危険度を理解していただき、いざというときの「想像力」を養い、自助・共助・公助がそれぞれ役割を発揮し、安全な避難行動に結びつけることを目的に構成しています。



ご家庭で確認しましょう。



◎ この冊子を使って確認した項目にチェック!

- ☐ 1. 土砂災害への日頃の備え
- ☐ 2. 土砂災害の危険性を知る
- ☐ 3. 奥多摩町における土砂災害に対する避難基準
- ☐ 4. 土砂災害時における避難所の指定
- ☐ 5. 土砂災害から身を守る

◎ ご自身の所属は?

自治会 組

◎ ご自身の家にかかる土砂災害(特別)警戒区域は?

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

◎ 家族に避難行動要支援者がいる?

はい ・ いいえ

◎ 近所の避難所は?

施設名

所在地

電話番号

<お問い合わせ> 奥多摩町総務課交通防災係 0428-83-2111(代)

1.土砂災害への日頃の備え

防災知識を身につけよう

- この冊子やハザードマップを活用して土砂災害の危険性や、自ら避難行動するための **正しい知識**を習得しましょう。

家庭で備える

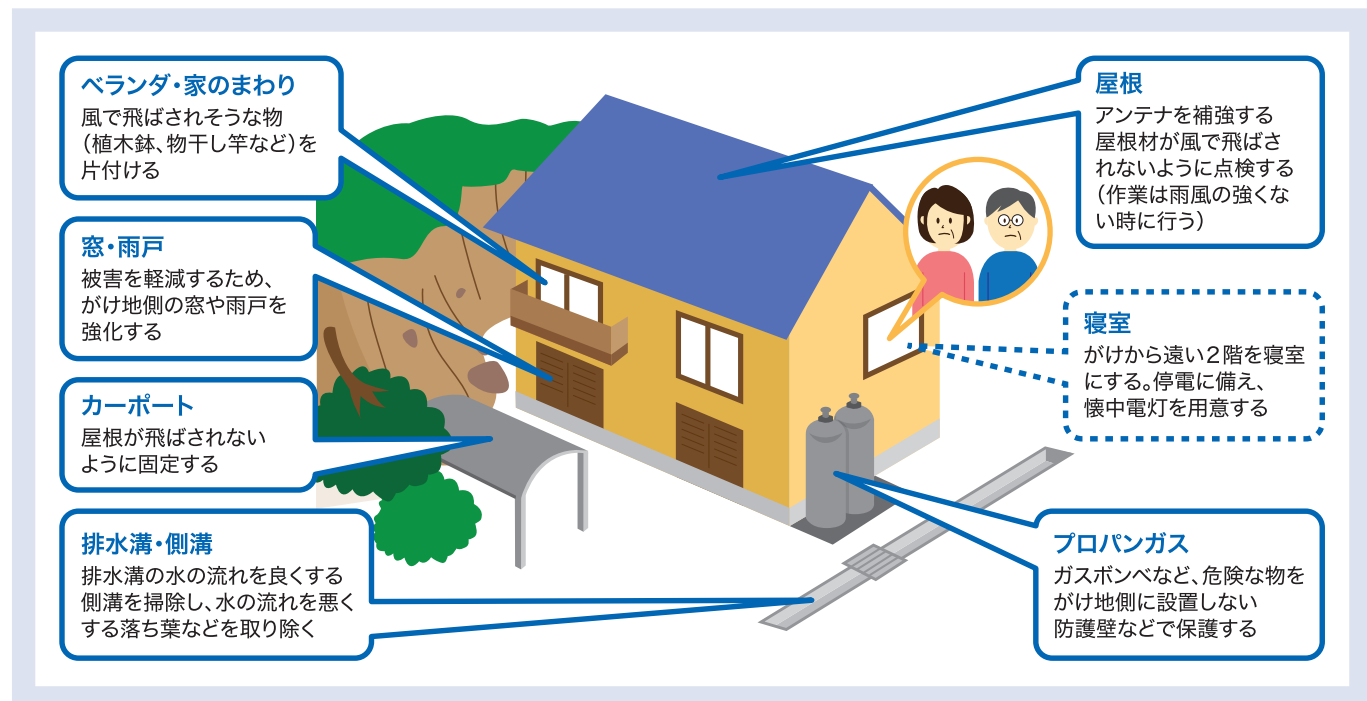
- 奥多摩町でも最低限の備蓄は準備していますが、いざという時に **すぐに持ち出せるよう**に、非常持ち出し品を準備・確認しておきましょう。



貴重品	☐ 健康保険証 ☐ 身分証明書 ☐ 印鑑 ☐ 現金(小銭を含む) ☐ 家や車のカギ ☐ メガネ・コンタクト ☐ 母子手帳 ☐ 銀行の口座番号・生命保険契約番号(証書等のコピー)
情報収集機器	☐ 携帯電話(充電器含む) ☐ 携帯ラジオ ☐ 家族や親せきの連絡先 ☐ ハザードマップや地図 ☐ 筆記用具
食料・健康維持	☐ 非常食 ☐ 飲料水(ペットボトル) ☐ 常備薬・持病薬 ☐ お薬手帳 ☐ タオル ☐ ウエットティッシュ ☐ 着替え(下着や靴下) ☐ 救急セット
避難用品	☐ 雨具(レインコート等) ☐ 防寒具 ☐ マスク ☐ 軍手 ☐ ブザーや笛 ☐ ポリ袋 ☐ 懐中電灯(予備電池含む)
その他	☐ 紙おむつ(幼児用・高齢者用) ☐ 粉ミルク・哺乳瓶(赤ちゃんに必要な場合) ☐ 生理用品 ☐ その他自分の生活に欠かせないもの()

自宅周辺を確認しよう

- 自宅周辺も被害を軽減するため、事前に確認・対策をしておきましょう。



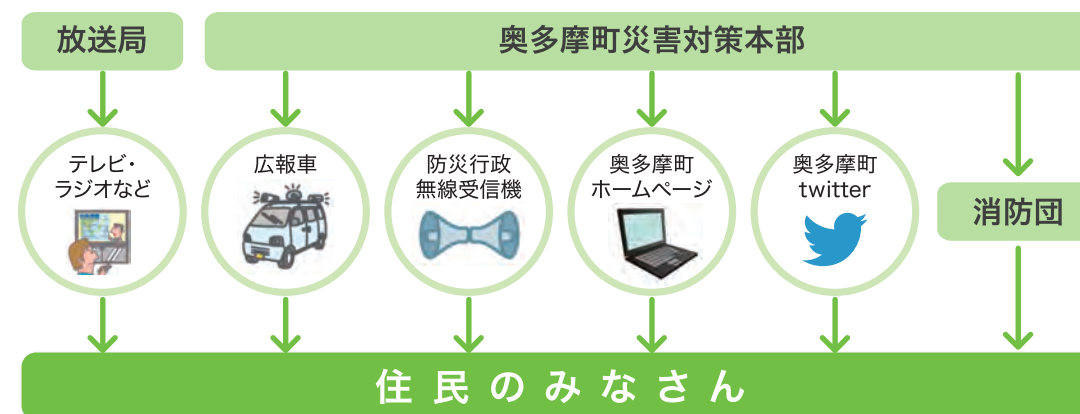
災害情報を自ら入手する方法を確認する

- 町の情報、テレビ・ラジオ以外でも、次のシステムで気象情報を見ることができます。

気象庁	気象庁 http://www.jma.go.jp/jma/ 警報・注意報 http://www.jma.go.jp/jp/warn/1330800.html 土砂災害警戒情報 http://www.jma.go.jp/jp/dosha/319_index.html	
国土交通省	“気象”×“水害・土砂災害”情報マルチモニタ http://www.river.go.jp/portal/#	
東京都水防災総合情報システム	http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/ トップページ《【雨量・水位・河川映像】及び【気象警報等】》奥多摩町	
NTT災害用伝言ダイヤル	・録音 171+1 ・再生 171+2 } + 自宅の電話番号 携帯電話・固定電話・公衆電話から利用が可能	
東京都奥多摩町交通防災係twitter	@oku_bousai 携帯やスマートフォン(携帯用アドレス)から右のQRコードを読み込んでください。	

奥多摩町からの情報伝達体制を知る

- **防災行政無線放送**の内容や**消防団員等の指示**にしたがって避難行動をとってください。
- 台風時などは、広報車の放送が聞こえない場合があります。情報は、ラジオ・携帯電話などで確認してください。



地域で備える



- 防災知識・行動を習得できる訓練の実施
ひなんこうどうようしえんしゃ
- 避難行動要支援者とともに訓練を実施



- 避難行動要支援者の把握や
ようはいりよしや してん
要配慮者の視点にたった
防災環境や支援を検討しましょう。

2.土砂災害の危険性を知る

土砂災害はいつ起きるのか

- 奥多摩町では、**梅雨期(6～7月)**および台風の進路となりやすい**秋雨期(9～10月)**にかけて、降水量が多くなり、**がけ崩れ**または**土石流**が発生する危険性があります。

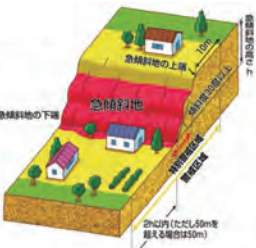
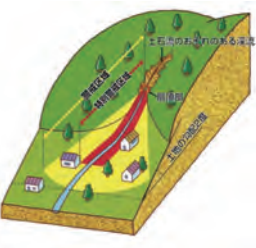
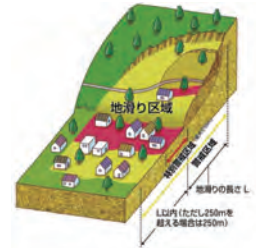
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に住民等の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域のこと。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に破損が生じる、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと。

	急傾斜地 (がけ崩れ)	土石流	地すべり
特徴	強い雨が降り続いたり、集中豪雨、大型台風による大雨の影響  ◎土砂災害防止広報センター 急な斜面が突然崩れ落ちる	 ◎土砂災害防止広報センター 水を含んだ大量の土石・砂が、一瞬のうちに谷沿いに激しく流れ下る	 ◎土砂災害防止広報センター 緩やかな斜面が、広い範囲にわたって、すべり落ちていく現象
前兆現象 (前ぶれ)	・ がけの割れ目が見える ・ がけから水が湧き出る ・ 小石がパラパラ落ちてくる ・ 斜面に亀裂が入る ・ 斜面から水が湧く ・ 泥臭いにおいがする	・ 山鳴りがする ・ 地鳴りがする ・ 山の水が濁り、流木が混ざる	・ 地面にひびわれができる ・ 地面がひびわれ湧水が出る ・ 井戸水が濁る ・ 風もないのに山の木がザワザワする ・ 地鳴りや山鳴りがする

※**前兆現象**を見つけたら、直ちに**避難所**または頑丈な建物等**安全な場所へ避難**してください。

土砂災害の危険性

- 東京都大島町では平成25年10月に発生した台風26号では**記録的な豪雨**(※)となり、**大きな被害**をもたらしました。

※日最大1時間降水量は122.5mmを記録した



台風26号による土石流の状況(平成25年10月17日)
(資料提供:国土地理院)

3.奥多摩町における土砂災害に対する避難基準

土砂災害(特別)警戒区域

警戒レベル	住民がとるべき行動	住民に行動を促す情報(避難情報等)	警戒レベル相当情報
警戒レベル 5 すでに災害が発生している状況	命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報	大雨特別警戒
警戒レベル 4	全員 避難	避難勧告・避難指示(緊急)	土砂災害警戒情報
警戒レベル 3	高齢者 障がい者 乳幼児 などとその支援者は避難、他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警戒 洪水警戒
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	
警戒レベル 1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める	警報級の可能性	

◎:奥多摩町が発令

防災行政無線放送例



「●●地域(自治会)の皆さんは、…のため、避難の準備をしてください。…のため、避難の勧告(指示)をします。」

※1 気象庁が発表する気象情報は、奥多摩町全域が対象となります。町が行う**避難勧告等**は、土砂災害警戒判定メッシュ情報を基に、**危険のある地域(自治会単位)**を確認して、**発令**します。大雨警戒等が発表されても、奥多摩町全域に避難勧告等が発令されるわけではありません。

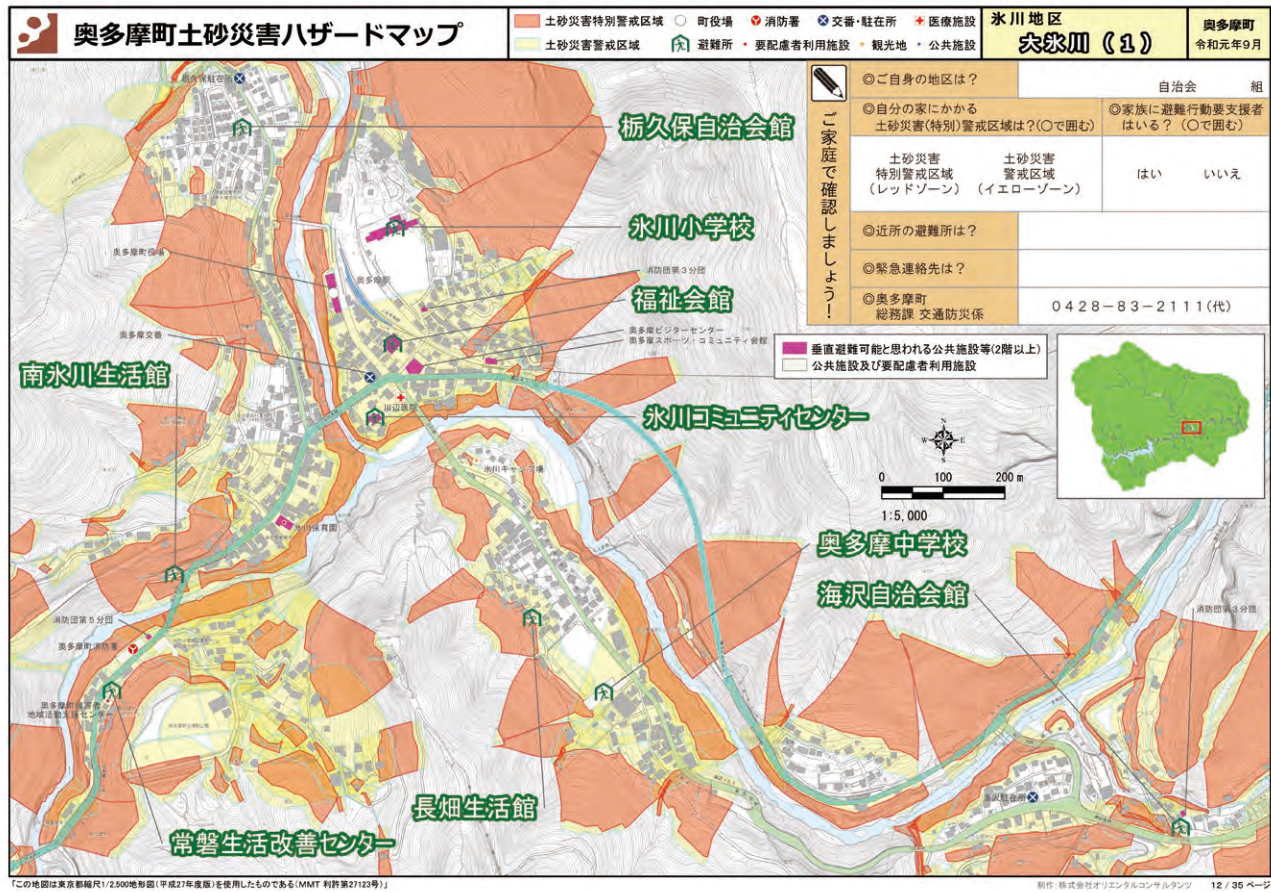
※2 夜間に大雨等が予想される場合には、上記の避難基準に達する前に、避難準備・勧告等が発令する場合があります。

※3 **避難基準**はその後の降雨の履歴と土砂災害の発生状況、区域は安全措置や対策、現地調査等を踏まえ、それぞれ適宜、**見直し**を行います。

※4 **逃げ遅れた場合**、がけ崩れや沢の氾濫が発生しているときに外へ出ると危険な場合があるため、**安全な場所(近所の頑丈な建物の2階など)**へ避難するなど、直ちに**命を守る行動**をとってください。



4. 土砂災害時における避難所の指定



指定避難所

地区	自治会	名 称	所在地	地区	自治会	名 称	所在地
古里地区	川井	川井生活館	川井156-4	氷川地区	南氷川	南氷川生活館	氷川1372-9
		沼沢集会所	川井290-24		栃久保	栃久保自治会館	氷川1806-1
		旧古里中学校	川井594		大沢	大沢生活改善センター	日原198-口
	大丹波	大丹波会館	大丹波122		日原	旧日原小学校	日原768-口
	梅沢	梅沢コミュニティセンター	梅沢106-口			日原生活館	日原760
	丹三郎	丹三郎生活館	丹三郎180		海沢	海沢自治会館	海沢779-4
	小丹波	小丹波コミュニティセンター	小丹波501		境	境生活館	境11-1
		旧小丹波生活館	小丹波472-2			境集会所	境353
		小丹波上集会所	小丹波279-6	中山	中山生活館	境871-1	
		寸庭集会所	小丹波907-1		小河内地区	原	原生活館
		奥多摩文化会館	小丹波82	坂本コミュニティセンター			留浦1252
	古里小学校	小丹波75	旧小河内小学校	留浦1237			
棚沢	棚沢コミュニティセンター	棚沢409	旧小河内中学校	留浦1237			
白丸	白丸生活館	白丸72-6	川野	川野生活館		川野261-1	
氷川地区	大氷川	氷川小学校	氷川278	留浦		留浦生活館	留浦619-1
		福祉会館	氷川190-口			峰谷	峰谷生活館
		氷川コミュニティセンター	氷川178-1	峰生活改善センター	留浦891		
	常磐	常磐生活改善センター	氷川954-1	奥生活改善センター	留浦1977-8		
	長畑	奥多摩中学校	氷川760				
		長畑生活館	氷川737				

ハザードマップを使って避難経路を確認する

① 自宅の場所を見つけましょう

自分が住んでいる場所を確認し、
じたく いち しるし
自宅の位置に印をつけましょう。

② 自宅や周辺の危険性を把握しましょう

どしゃさいがい とくべつ けいかいくいき
自宅周辺の土砂災害(特別)警戒区域を
確認しましょう。

③ 土砂災害時の避難所を確認しましょう

していひなんじょ
最寄りの指定避難所を地図で確認しましょう。

④ 安全な避難経路を確認しましょう

ひなんけいろ かくにん
自宅から避難所までの避難経路を確認し、地図に記入してみましょう。
●避難経路のポイント
どしゃさいがい とくべつ けいかいくいき
☐ 土砂災害(特別)警戒区域(がけ沿いや沢、橋)はできるだけ避ける
☐ できるだけ早く行ける・広い道路を選ぶ
はや い ひろ どうろ
☐ 沢の流れに対して直角になる経路を選ぶ
さわ なが たい ちよつかく

⑤ 実際に歩いて危険な箇所を確認

ハザードマップを持って、④の避難経路を歩き、危険な箇所を
かくにん
確認しましょう。
☐ 土砂災害(特別)警戒区域 ☐ がけ地
☐ 沢、橋 ☐ 狭い道路(幅員約4m未満)



● 避難経路に危険な箇所があった場合は、なるべく早めの行動を心がけ、
注意して避難しましょう。

